

〈広報〉
第31号
令和2年
11月10日

青山小学校区 コミ協だより

Comi-Kyo-DAYORI in Aoyama elementary school district

青山小学校区
コミュニティ会
協議会
新潟市西区青山6-16-20
☎025 (233) 2990

西区有明・浦山地区



マナの家

西有明町のマナの家は、高齢者のグループホームで、二〇一一年に創立。ユニット十八名とデイサービスの方々が利用されている。

西有明町福祉の会は、月一回訪問し季節の話題、朗読、遊び、歌等で楽しく交流していた。コロナ禍になり、朗読を詩の読み合わせに、歌をCDで手話ソングにと工夫したが、七月のみの訪問となった。

管理者の齋藤美幸さんに、コロナ禍のご苦労を伺った。

「利用者さんは、マスク着用が難しい方もいて、ウイルスを持ち込まない事が大事。三月からボランティア受け入れ無し、家族面会制限(オンラインあり)、職員の健康チェックとマスク着用と手洗いを懸命に。結果し



て楽しみな部外者とのかわり・買い物・外食・お花見は控え、ホームの周りの散歩・ドライブに。
又、職員のプレッシャーにも気を配る。「仕事を継続するにはリフレッシュが大事。行動目標強制は出来ない。様々を報告し合える職場環境にしてほしい」
本当にご苦労様です。
(村井幸子 記)

お茶の間「らっくり」



き合わないように椅子を並べて対応しています。

最初に検温、マスク着用、手指の消毒など感染症対策チェックリストを確認してから、体しゃつきり体操、筋力トレーニングなどに挑戦します。

休憩のお茶とお菓子は中止して、インストラクター指導のもと、こころヨガ・脳トレや理学療法士による筋力アップ運動を行っています。(宗村順司 記)

いきいき健康づくりの集い



毎月二回の開催ですが、新型コロナウイルスの影響で中止や運営の仕方を変更しました。「3密」を回避したうえで会場の制限数以内にする為、2グループに分けて月一回の参加としました。最初に検温、マスク着用、手指の消毒など感染症対策チェックリストを確認して始めますが、室内はちょっぴり緊張が走ります。
休憩タイムの飲食はやめ、インストラクター指導のもと、リラククスヨガ・脳トレ・リズムミックスウォーク等を行っています。(宗村順司 記)

新型「コロナウイルス」禍の収束見通しが立ちません。見えない敵、市民は感染の不安と心配で落ち着かない日常です。このため、地域活動は中止または規模縮小、延期に追い込まれ、日常生活は外出を控えて…。
有明・浦山地区の各施設の取り組みや活動の一部報告です。

ころにやってくる



児童の引き渡し訓練



1区自治会



4区自治会



5区自治会

令和二年度 青山小学校地区防災訓練

コロナ禍に対応、自治会の取り組み

今年是新潟市の「可能な限り、新型コロナウイルス感染症に対応した形で訓練の実施を検討」の通知により、青山小学校地区自主防災会実行委員会(田村政敏委員長)は「地区合同訓練は実施しない。地域ごとの防災訓練も地域の判断に」を基本方針として取り組みました。

まず、青山小学校の災害時の下校に伴う児童の引き渡し訓練は、保護者の迎えを原則として実施しました。保護者の訓練参加者数は二九八人でした。

例年の地区合同の防災訓練の形態を一部

変更し、各自治会、町内会単位、それぞれの趣向、判断で実施しました。四自治会(浦山一区、同四区、同五区、リバーハイイツ関分)が一次避難場所への避難行動、災害有事の備蓄品など生活の周りの安全、安心の確認をしました。また、実際の避難訓練は実施せず、避難行動の再認識やチェックリストなどを各戸に配布して対応した自治会もありました。コロナ禍の時世に地域各様の取り組みで実施したのが本年の大きな特色でした。

九月二十七日には災害有事に備える避難所開設、運営訓練を実施しました。二十一の自治会、町内会から二十二人が参加し、行政や業者の指導に沿って、段ボールベッ

うちの自治会 シリーズ3

浦山一区

参加しよう!
みんなのために

会長 田村政敏

浦山一区自治会は約二〇世帯の住民が十班構成で運営しております。西大通り沿いから産業道路までの地域で高低差があり、高齢者が歩くには難儀する地域になります。

最近では地域の間地点にゴミステーションを設置し、地域のゴミ捨てへの負担軽減に努めています。

もう一つは、二〇一八年の大雪の教訓を踏まえて



新潟市の助成活用で除雪機の購入を実施しました。

自治会の中で「浦山一区除雪隊」を結成し、若者を中心にこれからの大雪に備え地域の安全を守るため、頑張っています。

サンシャイン青山の新しい自治会長に
椎名啓子さんが就任しました。

災害は忘れた



今年新型コロナウイルス対策で青山小学校での有明・浦山地区合同防災避難訓練が中止となりました。この事態を受け「こんな時だからこそ出来る訓練は？」のもと実施したのが青山コミハにおける避難所開設訓練でした。

青山小学校地区自主防災会 青山 コミハ 避難所開設・運営訓練を実施して



リバーハイツ関分自治会

参加自治会・町内会は二十一団体の代表者が参加し、避難所開設の手順書に沿って実施しました。受付では新型コロナウイルス対策の非接触型体温計を使い、万が一対策にも対応が出来る事を確認しました。各部屋では段ボールベッドと簡易型パーテーションの組立を体験しましたが、皆さんの手際が良くそんなに時間をかけずにセットが完了しました。2mの通路

ドの組み立て、パーテーションなどの設置、対応に実践的に取り組みました。この避難所開設、運営の実践訓練については実行委員会でも内容を検討し、「地域の災害避難所の開設」を体験してみようとの取り組みでした。

を確保しつつ、各部屋にレイアウトしたら何セット設置できるか確認しました。青山コミハの避難者の収容人員は六十人から最大で八十人が「新型コロナウイルス対策」での定員との共通認識が出来ました。



これからの協議事項は青山コミハにおける避難所の在り方を皆さんと考えたいと思います。災害は地震・津波以外でも多種多様に発生しますので普段でも災害にどう安全に対処できるか日頃から心掛けましょう。

田村政敏・青山小学校地区自主防災会
実行委員長

さわやかな分水の川風切って ノルディックウォーク体験会



初秋、秋晴れの9月12日、ノルディックウォーク体験会が西区の関屋分水遊歩道で開かれました。過去最多の20人が参加、さわやかな川風を受けて軽やかなテンポで歩きました。この体験会は生活習慣病、介護予防やダイエット効果もあり、近年注目を集めています。

秋さがし

～アケビたわわに～

秋の深まりが日増しに…

西区浦山地区の民家玄関脇にアケビが実りの秋を謳歌している。毎年この家で見かけていたが、今秋もたわわに口を開けて実をつけていた。今秋はクマの出没が県内各地で頻発、人的被害も出て、山地は戦々恐々です。アケビの香りにひかれて海辺にも…。人間を怖がらない「新世代クマ」とか。



出没注意



西区長との意見交換会

少人数、ソーシャルディスタンスを保って

今年度はコロナの感染対策で恒例の区政懇談会が中止になり、行政側と地域のリーダーとの間で当面する喫緊の課題について意見交換する形で実施しました。行政側からは笠原明夢区長ほか区役所幹部、青山小学校区コミ協からは中藤榮子会長ら地区リーダーが出席、少人数で一時間程度でした。喫緊の課題については、①空き家、空き地の増加、②自治会役員の高齢化と担い手不足、③災害有事の避難所開設、④自治会長・民生委員の連携、地域情報の共有化などがテーマになり、今後、行政と地域が協働で課題解決に知恵を出し合っただけでなく、いくことを確認しました。